**認定URAの認定申請に係る自己アピール書（仮称）の書き方と様式２**

1. 自己アピール書（仮称）は，この書き方の後に付いている様式２を用いて，申請者自身が1ページ程度（２ページになっても構いません）で書いて下さい。
2. 自己アピール書（仮称）は，審査において，申請者のURA業務（類似業務を含む）の経験の内容と量は十分か，および申請者が主体的な問題解決能力を備えているかの判断に用いられます。それらが分かるように，業務上の役割や創意工夫等を含めて書いて下さい。
3. 業務の例を用いる場合は，直近の過去3年間に含まれるものにして下さい。
4. 理解し易くするために，項立てや図，表を用いても構いません。
5. 書き方に関する注意
* 様式の枠は変更しないで下さい。ただし，文字数が多くなって，縦方向に拡がることは構いません。
* 様式の申請者が記入する部分は，文字サイズ10.5ポイントで作成して下さい。それ以外のサイズは使用しないで下さい。
* 様式の申請者が記入する部分では，フォントは游明朝，文字の色は黒にして下さい。ただし，強調したいところを太字にしたり，色を変えたり，別のフォントにすることは構いません。
* 各様式の緑字で書かれた説明や指示は，提出前に消して下さい。提出の際は，不要の部分を削って，自己アピール書（仮称）（様式2）ページだけにして下さい。

自己アピール書（仮称）

様式2

（申請者が１ページ程度（2ページになっても構いません）で書いて下さい。）

作成日（西暦）　　　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 申請者氏名 |  |
| 所属機関部署・職名 |  |

ここから本文を書いて下さい。

審査では，申請者のURA業務（類似業務を含む）の経験の内容と量は十分か，および申請者が主体的な問題解決能力を備えているかの判断に用いられます。それらが分かるように，業務上の役割や創意工夫等を含めて，書いて下さい。

直近の3年間の業務を主に，業績はできるだけ具体的に，定量的に書いて下さい。

提出時には，緑字の部分は消して下さい。